

令和2年度
首里城公園事業年報
第2号



BUSINESS AN ANYE YEARLY REPORT OF SHURIJO CASTLE PARK
No.2 April 2020—March 2021

表紙写真 在りし日の首里城正殿（2019年2月撮影）

漆の塗り直し完了後から1年以上が経過した正殿の写真。正殿は琉球王国最大の木造建築物で、首里城のなかでも王権を象徴する中心的な建物である。中国や日本の建築様式の影響を受けながら、装飾化した龍柱や正面のハの字型階段など琉球独自の形式を持つ。写真の正殿は、1712年に建立され数度の大修理を経ながら戦前まで存続した建物の再現を目指して1992年に復元された。

裏表紙写真 東のアザナから西側を望む（2020年5月撮影）

2019年10月31日未明の火災から復興へ向けて動き始めた首里城公園の様子が窺える写真。アザナとは物見台を意味する。標高約140mの高さから首里城内、その先に那覇市街や海を見渡すことができる。画面左は白銀門、中央は独特な曲線美をもつ城壁、世誇殿や女官居室などの建物、右側奥より手前に守礼門や歓会門を一望した風景である。

目 次

I 名称・所在地・営業資料	3
II 沿革	3
III 管理・運営	5
(1) 組織	5
(2) 入場者数	6
(3) 取材等報道一覧	6
(4) 主な管理施設	6
IV 業務報告	7
(1) 普及啓発活動	7
(2) 調査研究活動	15
(3) 地域連携事業	17
(4) 展示紹介・その他企画展等	21
(5) 首里城公園友の会事業	27
(6) 誘客促進	31
(7) 行催事	32

I 名称・所在地・営業資料

名称 首里城公園 [沖縄県国営沖縄記念公園内施設（首里城地区内施設）]

設置者：内閣府 沖縄総合事務局
管理許可者：沖縄県
指定管理者：一般財団法人沖縄美ら島財団

所在地 〒903-0812 沖縄県那覇市首里当蔵町3丁目

電話：098-886-2020 FAX：098-886-2022

HP：<https://oki-park.jp/shurijo/>

開場時間

期 間	開 場 時 間	駐車場開放時間
令和2年4月1日～ 令和3年3月31日	9:00～17:30	8:30～18:00

※〈入場券販売締切 17:00〉

入場料金

	大 人	中 人 (高校生)	小 人 (小・中学生)
一般料金	400 円	300 円	160 円
団体料金	320 円	240 円	120 円
年間パスポート	800 円	600 円	320 円

※団体は20名様以上

※モノレール（ゆいレール）のフリー乗車券（一日券・二日券）をご利用中のお客様は首里城公園券売所窓口にて乗車券の提示により団体料金の適用

※首里城祭（10/31～11/3：4日間）、新春の宴（1/1～1/3：3日間）の時期、県民6歳以上より70歳未満を対象に「沖縄県民割」（大人400円→320円、中人300円→240円、小人160円→120円）を実施。

II沿革

昭和59年 沖縄県により「首里城公園基本計画」策定

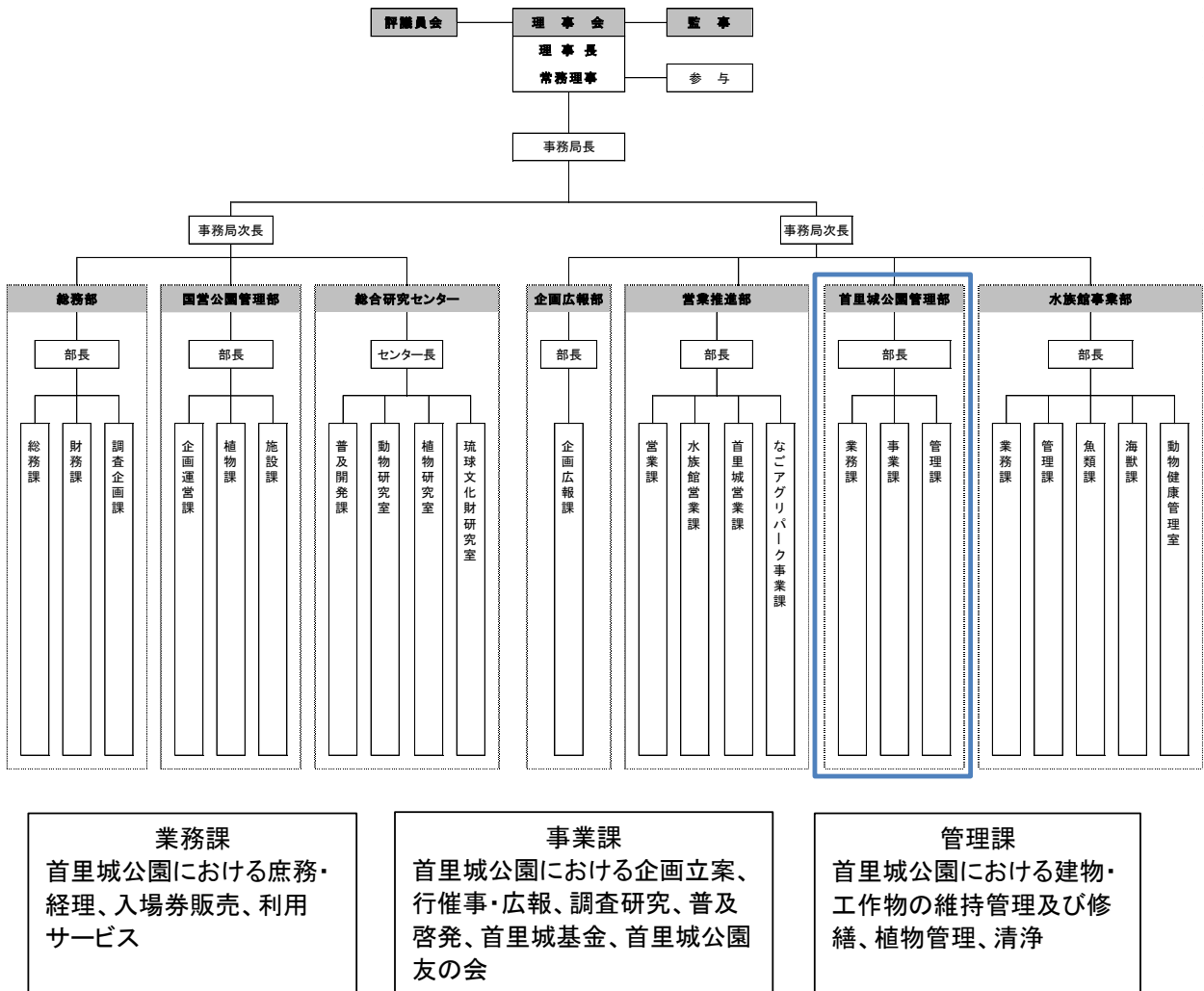
昭和61年 「国営沖縄記念公園首里城地区」として首里城跡地内4haを整備することが閣議決定
沖縄総合事務局により「国営沖縄記念公園首里城地区基本計画」が策定
国営公園の予定地の周辺を県営公園とすることを庁議決定
首里城公園（17.8ha）が都市計画決定

昭和 62 年		首里城公園内の国営公園部分が都市計画事業承認される 首里城公園内の県営公園部分が都市計画事業認可される。 沖縄県により「首里城公園基本設計」が策定
平成元年		首里城正殿建築工事の起工式及び木曳式を実施 首里城正殿、復元工事に着手。南殿・番所、北殿、奉神門等も復元工事に着手
平成 4 年		首里城正殿建築工事、石積設置工事等が竣工する
平成 4 年	11 月 3 日	首里城公園一部開園
平成 7 年	3 月 15 日	入園者 500 万人達成
平成 9 年	12 月 24 日	入園者 1,000 万人達成
平成 12 年	6 月 2 日	入園者 1,500 万人達成
	7 月 22 日	九州・沖縄サミットの夕食会が首里城で行われる
	12 月 2 日	「琉球王国のグスク及び関連遺産群」に園比屋武御嶽石門、首里城跡が世界遺産として登録
平成 14 年	11 月 1 日	入園者 2,000 万人達成
平成 15 年	10 月 4 日	京の内供用
平成 18 年	10 月 26 日	入園者 3,000 万人達成
平成 19 年	1 月 27 日	書院・鎖之間供用
平成 20 年	8 月 1 日	書院・鎖之間庭園供用
平成 21 年	7 月 23 日	書院・鎖之間庭園、名勝に指定
平成 22 年	4 月 1 日	淑順門供用
	12 月 5 日	入園者 4,000 万人達成
平成 26 年	1 月 24 日	黄金御殿・寄満・近習詰所・奥書院供用
	4 月 1 日	奥書院庭園供用
平成 27 年	4 月 25 日	入園者 5,000 万人達成
平成 28 年	3 月 28 日	銭蔵跡、厩、係員詰所跡供用
平成 29 年	3 月 31 日	北城郭園路広場供用
平成 30 年	12 月 16 日	入園者 6,000 万人達成
平成 31 年	2 月 1 日	国営沖縄記念公園首里城地区全エリア開園 東のアザナ・白銀門・二階御殿供用 世誇殿、女官居室、後之御庭、美福門供用
令和 元年	10 月 31 日	首里城正殿を含む建物 8 棟が焼損
令和 2 年	6 月 12 日	首里城公園正殿遺構等の一般公開
	10 月 31 日	首里城復興展示室、世誇殿大型映像設備、女官居室ミュージアム ショップ球陽がオープン

III 管理・運営

(1) 組織

一般財団法人 沖縄美ら島財団 組織図
 並びに 沖縄美ら島財団 首里城公園管理部 業務課・事業課・管理課 業務分掌



令和3年3月31日現在

(2) 入場者数

月	有料	無料	合計
4	0	0	0
5	0	0	0
6	10,054	1,269	11,323
7	21,093	1,667	22,760
8	537	38	575
9	11,010	1,027	12,037

月	有料	無料	合計
10	24,935	3,090	28,025
11	48,021	4,656	52,677
12	31,884	2,733	34,617
1	14,964	1,563	16,527
2	9,047	1,062	10,109
3	25,091	1,976	27,067
計	19,636	19,081	215,717

4/1~6/11

火災後の調査・準備対応等ならびに新型コロナ感染拡大に対する「緊急事態宣言」発出のため有料区域休場

8/2~9/5

新型コロナウイルス感染拡大に対する「緊急事態宣言」発出のため有料区域休場

(3) 取材等報道一覧

カテゴリー	テレビ(全国)	テレビ(地方)	新聞(全国)	新聞(地方)	ラジオ	Web
展示	0	1	0	1	0	0
普及啓発	0	6	0	1	0	2
調査研究	0	1	1	0	1	0
イベント	6	23	11	18	1	5

(4) 主な管理施設

区域		施設名
無料区域	城郭外	首里杜館・守礼門・園比屋武御嶽石門 円覚寺・弁財天堂・龍潭・中城御殿跡
	城郭内	歓会門・久慶門・瑞泉門・漏刻門・広福門 首里森御嶽・系図座用持座・奉神門 右掖門・淑順門・継世門・美福門 銭蔵・木曳門
有料区域(焼失建造物含む)		正殿・南殿 番所・北殿・書院鎖之間 書院鎖之間庭園・近習詰所・奥書院 黄金御殿・寄満・女官居室・世誇殿 復興展示室

IV 事業報告

(1) 普及啓発活動

郷土歴史文化学習事業

目的

郷土の歴史や文化の普及・啓発を図るため沖縄県内の小・中学生及びその引率教諭を対象に、首里城公園内の有料施設に無料で入館できる郷土歴史文化学習事業を実施している。

来園後にはその学習結果報告として児童・生徒の作文、図画、新聞等を提出していただき、それらを展示し紹介することで首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を行うとともに、県民の首里城公園の利用促進を図り誘客につなげることを目的とする。

概要

令和2年度は小学校31校1,467名、中学校9校1104名、その他団体1件4名が郷土歴史文化学習事業の制度を利用し首里城公園へ来園し、琉球及び首里城の歴史文化について学んだ。

	小学校		中学校		その他(学童等)		合計	
	校数	人数	校数	人数	件数	人数	校数・件数	人数
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	2	107	0	0	0	0	2	107
8月	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	1	111	0	0	0	0	1	111
10月	6	194	3	254	0	0	9	448
11月	11	577	4	588	0	0	15	1,165
12月	1	9	2	262	0	0	3	271
1月	3	168	0	0	0	0	3	168
2月	3	28	0	0	0	0	3	28
3月	4	273	0	0	1	4	5	277
合計	31	1,467	9	1,104	1	4	41	2,575

首里城出張講座

目的

郷土歴史文化学習事業で来園を予定している小・中学校、または依頼のある高校などを対象に、学芸員による首里城についての出張講座を実施し、郷土の歴史文化の普及・啓発と首里城公園の利用促進を図る。

概要

郷土歴史文化学習事業の事前学習として、琉球王国及び首里城の歴史概説や現在の首里城公園の見どころ、また希望に応じて学校の所在する地域と首里城の関連などの歴史解説を行った。実施日・実施場所・参加人数・派遣職員等については以下の通り。

- ・ 令和2年10月1日（木） うるま市立彩橋(あやはし)中学校
参加者数：8名（中学3年生）、教員3名
派遣職員：輝 広志（事業課広報企画展示係）
- ・ 令和2年10月20日（火）・27日（火）（1日2校時・合計4回）
浦添市立神森中学校 参加者数：291名（2年生） 教員7名
派遣職員：比嘉 明子（事業課広報企画展示係）
- ・ 令和2年11月18日（水） 那覇市立城北小学校 体育館
参加者数：111名（3年生）、教員3名
派遣職員：比嘉 明子（事業課広報企画展示係）
- ・ 令和2年11月20日（金） 糸満市立高嶺中学校 体育館
参加者数：47名（2年生）、教員4名
派遣職員：宇保朝輝（事業課広報企画展示係主任）
- ・ 令和2年12月16日（水） 那覇市立城南小学校
参加者数：78名（4年生）、教員3名
派遣職員：比嘉 明子（事業課広報企画展示係）



首里城出張講座の実施風景
（浦添市立神森中学校）

日影台（日時計）解説会

目的

首里城及び琉球王国の歴史文化の普及啓発を行うとともに、首里城公園の利用促進や誘客を目的として、学芸員による日影台（日時計）の解説会を実施する。

実施日時および場所

《実施日時》

①令和2年9月19日（土）、20日（日）※1回目は雨天により中止、21日（月・敬老の日）、22日（火・秋分の日） 12：00～13：00、14：00～15：00

②令和3年3月20日（土・春分）、21日（日） 12：30～13：00、
14：30～15：00

《実施場所》 首里城公園内 日影台

概要

琉球王国時代に使用された日影台は、往時、時刻盤の傾斜角度を二十四節季ごとに変えていたが、現在は春分・夏至・秋分・冬至の4回変えている。

令和2年度は、秋分の日を含むシルバーウィークの4日間、春分の日と翌日の日曜日に解説会を実施し、総計956名（秋分：550名+春分：406名）が解説会に参加した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から密の状態を回避するため、解説員・学芸員による解説会を行わない代替として解説書と自作できる日影台のワークシートを配布し、日影台の見学を行った。

さらに日影台解説動画を制作し、YouTubeの首里城チャンネルにて配信中の旨、見学の際に案内した。

【令和2年度 日影台（日時計）解説会 参加者数】

実施日	曜日	12：00～	14：00～	小計	合計	
		13：00	15：00			
		名	名	名	名	
令和2年 （秋分）	9月19日	土	73	70	143	550
	20日	日	—	50	50	
	21日	月	132	80	212	
	22日	火	87	58	145	
令和3年 （春分）	3月20日	土	72	154	226	406
	21日	日	79	101	180	
				総計	956	

首里城講座

目的

本講座を通じて、首里城に関する歴史・文化を主に県民に向けて普及啓発し、首里城公園の利用促進と満足度向上を目的とする。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和3年1月29日（金）～2月20日（土）

《時間》 第1回は16:00～17:30、第2回以降は13:30～15:00

《場所》 首里城公園 首里杜館 情報展示室

概要

今期は世誇殿で開催した「『手わざ』琉球王国の文化」展に合わせ、展覧会に関連する方々を講師を招いて4回シリーズで行った。

・【第1回】「『手わざ』琉球王国の文化」展について

講師：篠原 あかね（沖縄県立博物館・美術館 学芸員）

平成27年度から取り組んでいる「琉球王国文化遺産集積・再興事業」と展覧会について概説し、事業を通じて見えてきた琉球王国時代の「手わざ」の素晴らしさ、事業で製作された模造復元資料について詳細な解説を行った。沖縄県立芸術大学でも第2会場として開催される展示についても紹介した。

〔参加者数：11名（定員15名、申込者6名）〕

・【第2回】「線彫雲龍文呉須手焙」について

講師：松田 共司（北窯・松田共司工房）

模造復元「線彫雲龍文呉須手焙」について、実際の作業工程を中心に苦労したことも含めて解説した。沖縄県立博物館・美術館から試作品、沖縄科学技術大学院大学（OIST）から3D模型を、参加者に近くで見てもらいながらの詳細な解説を行った。琉球王国時代の技術に迫ることの難しさ、土や釉薬、焼成方法等の試行錯誤、次世代へ技術を引き継ぐ大切さについて語られた。参加者の活発な質疑応答から関心の高さが窺えた。

〔参加者数：14名（定員15名、申込者7名）〕

・【第3回】「三線 盛嶋開鐘附胴」について

講師：仲嶺幹（沖縄県三線製作事業協同組合 事務局長）

集積再興事業での取り組みや三線「盛嶋開鐘附胴」の詳細な製作方法について、画像を交えながら解説し、CT スキャンや3D プリンター等を用いることによる琉球王国時代の技術解明への新たなアプローチ、調査研究成果を復元製作に反映させたことなど話された。琉球文化財研究室の佐久本純によって現在の三線を用いた演奏と、盛嶋開鐘の試作品を用いた演奏がなされ、三線の聴き比べが行われた。また、現代の三線、試作品の三線、3Dプリンターで製作された三線も展示された。参加者の質問や鑑賞の様子から関心の高さが窺えた。

〔参加者数：16名（定員15名、申込者11名）〕

・【第4回】「空色地貝藻紅葉松葉木目文様紅型木綿袷衣裳」

講師：玉那覇有勝（玉那覇紅型工房）・

屋比久珠代（縫製・沖縄県和裁技能士会）

玉那覇氏から、衣裳の生地の手順に沿って、困難を極めた点や試行錯誤した点等の説明を行った。また実際の試作品も参加者が間近でみる事ができた。

屋比久氏から、縫製について、国宝に指定されている原資料調査の難しさや実際の作業を行う上で検討したことなど、細部の画像を用いながら詳細に解説された。

染織や復元事業に関わっている方の参加が多く、司会から指名しての質疑応答が行われたが、それぞれの苦労や事業を通して見えてきたことなど実感を持って語った。

〔参加者数：20名（定員15名、申込者19名）※県博等関係者を含む〕

令和2年度 首里城講座 風景



第1回



第2回



第3回



第4回

首里城公園有料ガイドツアー（試行）

目的

お客様に琉球王国や首里城の歴史・文化、建造物等について専門の職員による解説紹介を行うことによって、誘客促進、利用者満足度の向上を図る。特に正殿等の再建が着々と進む今だからこそ見られる、感じられる首里城の新たな魅力や再建に向けた状況を紹介し、首里城復興に向けた期待を高め、首里城への理解を深めることを目的とする。

実施日時および場所

《実施日時》

令和2年12月26日（土）～31日（木）6日間

12月26日・27日：9：00／11：00／14：00／16：30

12月28日～31日：10：00／14：00／16：30

《実施場所》 首里城公園内（受付）系図座・用物座

Aコース：基本となるコース

系図座・用物座→大龍柱→日影台→奉神門→正殿遺構→東のアザナ→世誇殿→後之御庭

Bコース：首里城を深く堪能するコース

系図座・用物座→京の内→書院・庭園→奉神門→正殿遺構→淑順門→北城郭→世誇殿

Cコース：ビュースポットを巡るコース

系図座・用物座→奉神門→正殿遺構→世誇殿→東のアザナ→京の内展望台→西のアザナ

Dコース：段差の少ないコース（車いすでも回れるコース）

系図座・用物座→日影台→奉神門→正殿遺構→復興展示室→世誇殿→京の内→西のアザナ

概要

中学生以上は1人1,000円とし、1回の定員を5名（同一グループは10名まで）で行った。中学生以上は30名の参加があり、全体では小学生を含めて34名であった。

系図座・用物座で受付を行い、検温及び体調等の申告書の記入後、琉球王国や首里城についての概要を説明後、ツアーをスタートした。参加者の様子を確認し

ながら、安全に回れるように声かけを行い、質問等にも対応した。

コースは担当するガイドが選択し、お客様の様子や希望、天候を勘案しながら調整した。またツアー終了後なるべく園内で過ごしていただけるように、各施設（展示やショップ等）の案内も行った。参加者は、個人での旅行者や家族連れ、車いす利用者の参加等さまざまで、終了後にノベルティグッズを差し上げてアンケートを行ったところ33名のアンケートの回答も得られ、概ね好評であった。



京の内～西のアザナ付近を案内



御庭等有料エリアを眺める



世誇殿でのタッチパネルガイド

(2) 調査研究活動

尚穆王御後絵彩色模写デジタル複製製作業務

輝 広志¹

1. はじめに

本業務は、昨年度完成した第14代琉球国王である尚穆王の御後絵について、安定的な展示を実施することを目的に、原寸大の彩色模写デジタル複製製作（本紙複製製作：表装を除く絵画の複製製作）を行うものである。

琉球国王の死後に描かれる国王肖像画の「御後絵」は、戦前に撮影されたモノクロ写真が残されるのみで、実物資料は沖縄戦で焼失している。そのため様々な調査研究を通じて知見を集積し、その知見に基づいて製作された原寸大の御後絵（彩色模写復元）は琉球絵画の歴史を考える上でも重要な資料である。

なお、本紙複製製作は、東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室が行った。

2. 概要

(1) 製作概要

過年度に製作した「尚穆王御後絵（彩色模写復元）」（以下、「原本」と略記）の本紙と同様に、原寸大デジタル複製製作を行った。

原本の完成画像から色の確認を行う必要がある部分を抽出し、マット紙と下地処理を施した雅邦紙に出力。複製作品の本紙となる雅邦紙（出力画像）を、原本の対応する箇所に合わせて撮影や色の記録等を行った（【写真1】）。全2回の色合わせ作業における彩色サンプルとの比較や記録の作業、彩色作業等を通じて色調を近づけていった（【写真2】）。



【写真1】色合わせ作業風景



【写真2】原本と雅邦紙との比較

印刷によって彩色が精密に表現できない箇所については、原本と同様の天然

¹ 一般財団法人沖縄美ら島財団 首里城公園管理部 事業課 広報企画展示係

顔料・金箔等を使用し補彩した。印刷部分と彩色の絵具部分で差異が大きくなるように、作品としての全体的なまとまりに気をつけて手作業による彩色を行った。

出力画像では不明瞭であった衣裳の龍紋などの紋様もすべて手描きした。金箔の寸法や密度も原本と同じになるように等倍写真などを確認しながら国王の背景に金箔を蒔く作業を行った。着衣の赤色部分の他、王の冠と家臣の石帯に箔を押し、団扇の龍や王の椅子の七宝繋ぎ紋に金泥線を施し、彩色を仕上げた。

(2) 本紙完成品 (【写真3】) の法量

丈 162.0 cm 幅 162.1 cm



【写真3】尚穆王御後絵（彩色模写複製）本紙 完成品

3. 課題

本年度は、尚穆王（第14代琉球国王）の彩色模写デジタル複製製作を実施し、御後絵本体の本紙を完成させた。しかしながら、表装具の製作はされていないため、未だ展示を行うことができない。御後絵の保存管理および安定的な展示を行うためにも、今後は表装具の製作が課題である。

(3) 地域連携事業

フラワーロード事業

目的

都市公園及び都市公園の周辺地域に対する県民の意識の高揚と利活用の効果を高めるため、住民参加による都市公園等の愛護活動を展開する。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和2年10月25日(日)

《時間》 9:00～11:00

《場所》 首里城公園内 ハンタン山および龍潭周辺

《連携団体》 首里地域住民の方、近隣の地域団体・企業 (参加者：121名)

概要

10月の沖縄都市緑化月間・都市公園等愛護活動の一環として、首里城公園内のハンタン山及び龍潭園路周辺の清掃美化作業、プランターへの草花植付け作業を実施した。作業開始前に主な作業内容の説明を行い、安全管理、新型コロナウイルス感染症対策、熱中症対策に注意して作業を行うよう参加者に周知した。

清掃作業は、園路の清掃作業や石積みの除草、池内の落葉除去等を実施した。また、プランターの草花植付け作業では、ベゴニアとナデシコ、マリーゴールドの3種類を準備した。植付け後には、龍潭通り(県道)をフラワーロード用に植付けたプランターを飾ることにより、沿道の景観向上を図った。参加者には、総合研究センター(植物研究室)より提供されたハイビスカスの苗を配布した。この活動を通して、参加者に都市公園愛護への意識高揚を図ることができた。



令和2年度 フラワーロード事業 風景

首里城への美御水（ヌービー）の奉納

目的

かつて首里城へ献上され、国王の年始清め儀式「お水撫で(ウヰナデー)」などに使われたのが、国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」で汲まれた水である。そして、首里王府の伝統行事として執り行われてきた国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」は、平成10年に120年の時を超え復活した。

本行事は、地元首里の方々と共に琉球文化の心と想いを伝え、来る年の人々の健康と多幸を願い、首里城及び地域の平和と発展推進を祈念し、更に次世代への固有文化継承を目的としている。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和2年12月27日（日）

《時間》 15:00～15:30

《場所》 旧円覚寺総門前

《連携団体》 首里観光案内所 辺戸区お水取り有志の会

概要

首里王府の伝統行事として執り行われてきた国頭辺戸の「大川御水取りの儀式」と「円覚寺奉納」が行われた。首里城公園内では、旧円覚寺総門前において「奉納の儀」が実施された。今回は簡素化されての実施ではあったが、一般来園者などでも撮影する様子も見られ関心の高さが伺えた。



令和2年度 首里城への美御水（ヌービー）の奉納 風景

令和2年度 首里手作り市

目的

コロナ禍における自粛ムードからの賑い回復や首里の活性化を目的に、首里まちづくり協議会を中心とした団体や学校等と連携し、地域の子も達が元気になれる首里手作り市を実施する。

実施期間・時間および実施場所

《期間》 令和3年3月20日（土）～令和3年3月28日（日）

《時間》 13:00～20:00 ※3/20（土）のみ11時から

《場所》 下之御庭、芝生広場周辺及び龍潭周辺

《連携団体》首里まちづくり研究会、沖縄県立芸術大学

概要

テーマは「みんなが主役」とし、企画から運営までを地域と一緒に行うことで、日頃から首里城公園に足を運んでいただけるような「地域に親しまれる公園」作りに取り組んだ。

タイトル	場所	実施日	参加者数
こども御開門	奉神門	3/27～3/28	185名
こども旗頭	守礼門、歓会門、下之御庭	3/27	409名
ちんすこう作り	レストラン首里杜	3/20、3/27	47名
くんぺん作り		3/21、3/28	62名
お面作り	芝生広場ガジュマル付近	3/20～3/28	177名
正殿ぬりえ		3/20～3/28	184名
ちょうちん作り		3/20～3/21、 3/27～3/28	24名
昔の遊び体験		3/20～3/28	506名
星空観察会	カフェ龍樋裏芝生	3/20	19名
ミツバチ教室	芝生広場ガジュマル付近	3/27	22名
首里城見学会	首里城公園内	3/27～3/28	32名
桑江さんぽ	首里城公園内	3/21、3/28	16名
杜のステージイベント	芝生広場	3/20～3/21、 3/27～3/28	1,057名

首里民話読み語り	芝生広場ガジュマル付近	3/20～3/21、 3/27～3/28	187名
ふれあい水族館	守礼門後方	3/28	291名
やんばる野菜販売	芝生広場	3/21、3/28	—

・首里手作り市イベントガイドラインを作成しメイン会場に掲示したほか参加者への検温、マスク着用、手指の消毒等の対策や芝生広場メイン会場入口にCOCOA および RICCA の QR コードを掲示し利用を促した。

・ふれあい水族館では三密対策のため、解説員による魚の解説等は行わず、個体の写真を掲示した。

・アンケートでは「地元の大人・子供でも楽しめる参加型イベントだったので良かった」や首里地域からの参加者からは「しばらく首里城へ来れていなかったの、子供と一緒に参加できて、普段体験できないようなちんすこう作りやミツバチを間近で見れて良かった」など地域参加者の満足度の高さが感じられた。



こども御開門



こども旗頭



ふれあい水族館



首里民話読み語り

(4) 展示紹介・その他企画展等

屋外展示・復興展示室・その他企画展等

1. 屋外展示

世界文化遺産に登録され、国指定史跡でもある「首里城跡」。見学用デッキがある場所に広がる地下には「首里城正殿跡」の遺構が存在する。地下に眠る遺構は、平成の首里城復元の際に保護のため埋め戻され、その上に建物を築くための地盤がかさ上げされている。覆屋の中には基壇遺構の公開部分である石積みの一部を見ることができる。



首里城正殿跡屋外展示風景

1) 正殿基壇

首里城の最も中心的な建造物が正殿であり、その土台が基壇である。また、遺構とは古い建物の一部として残されたもののことをいう。基壇遺構の存在は、正殿の位置と規模の解明、復元の手がかりとして最も重要なものである。過去に何度も建て替えられていたという興味深い事実が、考古学的発掘調査によって判明している。

正殿の土台にあたる基壇の石積みから、正殿は建替えの度に西側へ拡張されていった事が垣間見られる。発掘調査により正殿基壇が15世紀頃には既に石積みで造られていたことが確認されており、一番古いのが東側にある石積み(第2基壇)である。琉球石灰岩が用いられ、切り石積みとなっている。また、この15世紀の石積みに火災の痕跡が確認された。文献記録によれば、琉球王国時代の正殿火災は3度あったことが知られており、最初の火災が1453年の志魯・布里の乱という王位継承争いによる炎上である。

遺構の中央石積み(第3基壇)を南側から見るとL字型であり、西側の石積み(第4基壇)に接している。よく見ると、L字の短辺にあたる石積みには、御庭に向けて石段状のものが見える。形状から正殿正面の階段は直線階段だったことがわかる。



正殿基壇遺構

2) 龍頭棟飾鉄骨・飾瓦破片

首里城正殿の大棟（おおむね）の南北両端と中央の唐破風（からはふ）の上には、大きな龍の飾瓦があった。戦前の写真では漆喰製だが、17世紀後半では焼物であったことがわかり、平成の復元では焼物が用いられた。しかしながら、大棟の龍頭の長さは約3.3メートルあり、相当の重量になるため、安全性や耐久性を考えた工夫がなされた。龍の頭や鱗などは小さなピースに分割されて焼かれた陶片で、下地にステンレス線や接着剤により一つずつ留められた。さらに、下地に留められた陶片と屋根の棟木（むなぎ）を接いで固定していたのが鉄骨である。この鉄骨はステンレス製だったため火災の影響を受けながらも残った。龍頭棟飾の鉄骨と飾瓦破片（陶片）は、困難な復元作業を職人技で克服した歴史を物語る貴重な残存物である。



首里城正殿跡に展示された龍頭棟飾鉄骨・飾瓦破片

3) 礎石

見学用デッキが特設されている現在の「首里城正殿跡」には、砂地の表面に丸く出っ張った石が複数ある。この石は、礎石という正殿の柱の基礎となる石で、平成の復元時に据えられたもの。材質は沖縄本島中南部で採掘される細粒砂岩で、三階建ての正殿を支えていた。柱跡でもある礎石は間隔を空けて置かれており、正殿の規模（幅約 28.8m／奥行き約 17.0m）を偲ばせ、ひび割れや変色の痕によって火災の凄まじさを伝えている。



平成の首里城復元の際に据えられた礎石

4) 首里城正殿の石高欄

首里城正殿の正面と中央の階段には石で造られた高欄が設置されていた。王宮にしつらえたいわゆる手摺りであり、装飾でもあった。平成の首里城復元では、16世紀初め頃から戦前まで残っていた高欄が復元された。基壇上より突出する高欄を支える持送り石には琉球石灰岩が用いられ、その他は「ニービの骨（ニービヌフニ）」と称される細粒砂岩で造られた。石造りの高欄自体は、中国の宮殿建築にならったものだが、高欄の端にある親柱の逆蓮頭（蓮の花を逆さに伏せた装飾）、また高欄を支える束石の握蓮（蓮の葉のかたちの装飾）など日本の禅宗様の建築様式に似せたデザインが見られる。展示されている石高欄は火災の影響で破損したもので、在りし日の首里城正殿を物語る重要な残存物である。



展示された正殿の石高欄（左）と在りし日の首里城正殿の石高欄（右）

2. 復興展示室

御内原エリアに令和2年10月31日、復興展示室がオープンした。展示室へ足を踏み入れると、火災前まで首里城正殿の屋根から睨みをきかせていた獅子瓦と目が合う。ここでは、獅子瓦をはじめ、首里城正殿を彩っていた小龍柱や獅子、石高欄等の石彫刻の残存物の一部を展示している。バラバラになってしまった姿は火災の凄まじさを物語っているが、同時に今までは間近で見ることが叶わなかった石彫刻や瓦の細部を見ることができる。

5台設置されたデジタルサイネージでは、それぞれ「首里城正殿：琉球王国の美の結晶」「首里城正殿：瓦と漆塗装」「首里城正殿の美：彫刻・漆工芸」「正殿の火災について」「復興の様子」について、動画を交えて紹介している。平成の復元時に正殿の彫刻を制作しているところや瓦を葺いているところ、龍頭棟飾りを設置している様子等、たくさんの職人や技術者が正殿を造り上げていた姿を目にすることができる。

奉神門の北側に残った瓦を使って、再び葺いた瓦も展示しており、沖縄の青い空に映える赤瓦の色や形を近くで堪能できる。また、来園者の満足度を高めるため過去の展示図録・写真等の書籍やミュージアムグッズもそろえたショップも併設している。



首里城公園御内原エリアの復興展示室と展示風景

3. 企画展ほか

次のとおり企画展の開催および連携・協力を行った。

【開催】

- ・「首里城収蔵品」パネル展（会期：10/31～11/3 会場：首里杜館ビジターロビー）
※首里城火災から1年を経て収蔵品の修復状況を紹介。
- ・「朝賀の儀式」パネル展（会期：12/31～1/3 会場：首里杜館ビジターロビー）
※イベント「新春の宴実」施時に、往時の正月儀式の様子などを紹介した。
- ・自主企画展「在りし日の首里城 写真パネル展」（会期：1/2～2/29 会場：おきみゅー〈沖縄県立博物館・美術館〉）
※首里城火災から1年を経て在りし日の首里城を写真パネルで紹介。
- ・華みぐい『花の工芸品』パネル展（会期：2/20～3/14 会場：首里杜館ビジターロビー）
※イベント「琉球華みぐい」（会期：2/20～3/14）にあわせて園内の植栽のほか植物をデザインした工芸品を写真パネルで展示紹介した。
- ・『中城御殿古写真』パネル展（会期：3/31～ 会場：首里杜館ビジターロビー）
※沖縄美ら島財団所蔵の森政三コレクションの中から琉球王国時代の王子の屋敷だった中城御殿の古写真を展示紹介。

【連携・協力】

- ・イオン首里城復興支援プロジェクト「首里城パネル展」（会期：10/19 会場：イオン南風原店）
※収蔵品の修復状況を紹介したパネルの貸出を行った。
- ・沖縄県立芸術大学附属図書芸術資料館企画展「琉球の芸術・文化に魅せられて 鎌倉芳太郎と首里城」（会期：10/23～11/3 会場：沖縄県立芸術大学附属図書芸術資料館）
※同館へ尚穆王御後絵（彩色摸写復元）のほか資料の貸出を行った。

- ・琉球王国文化遺産集積・再興事業 巡回展「手わざ 琉球王国の文化」
(会期：1/21～2/28 会場：首里城公園内世誇殿)
※沖縄県立博物館・美術館と連携して開催した。

(5) 首里城公園友の会事業

首里城公園友の会事業報告

首里城公園友の会では、沖縄の歴史や文化の普及に関する講演会、見学会など、専門の講師を招聘し、年間を通して開催している。首里城公園を拠点に沖縄美ら島財団と連携し、首里城公園への来園促進を促し、地域に根ざした普及啓発活動を行った。

1. 首里城見学会

1. 建築を中心に-復興の現状と今後

講師：平良啓氏（株国建）

(1)開催日：11月28日（土） 参加者：13名

(2)開催日：12月20日（日） 参加者：13名

(3)開催日：12月27日（日） 参加者：13名

2. 手作り市ガイドツアー

(1)講師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）

開催日：3月27日（土） 参加者：16名

(2)講師：上里隆史氏（浦添市立図書館長）

開催日：3月28日（日） 参加者：13名

2. 首里城周辺めぐり

1. 首里崎山を中心に

開催日：9月13日（日） 参加者：14名 講師：新里涼子氏（株国建）

2. 首里のお寺（跡）を中心に

開催日：9月20日（日） 参加者：13名 講師：喜納大作氏（首里城研究会会員）

3. 那覇めぐり及び地域めぐり

1. 王国時代の那覇を歩く

開催日：10月18日（日） 参加者：14名 講師：鈴木悠氏（那覇市文化財課）参加

2. 地域めぐり宜野湾編-宜野湾市“大山”の史跡探訪

開催日：12月26日（土） 参加者：16名 講師：平敷兼哉氏（宜野湾市立博物館長）

3. 地域めぐり中城編－中城城跡と周辺めぐり
開催日：3月6日（土） 参加者：21名 講師：渡久地真氏（中城村教育委員会）
4. 那覇めぐり美栄橋駅周辺の史跡・旧跡探訪&那覇市歴史博物館見学
開催日：3月7日（日） 参加者：12名 講師：喜納大作氏（首里城研究会会員）
5. 地域めぐり浦添編－浦添グスク&周辺めぐり
開催日：3月13日（土） 参加者：14名 講師：仁王浩司氏（浦添市教育委員会文化財課）

4. コンパクト講座

1. 「古琉球の浦添と首里城」
開催日：9月27日（日） 参加者：15名 講師：上里隆史氏（浦添市立図書館長）
2. 「琉球・沖縄の食文化の足跡を求めて」
講師：勝連晶子氏（沖縄美ら島財団）
 - (1)開催日：10月15日（木） 参加者：10名
 - (2)開催日：10月22日（木） 参加者：10名
 - (3)開催日：10月29日（木） 参加者：12名
3. 「尚家文書の1846年重修について」
講師：高良倉吉氏（琉球大学名誉教授）
開催日：10月25日（日） 参加者：15名
4. 「久米村と琉球王国」
講師：前田舟子氏（沖縄大学准教授）
開催日：10月31日（土） 参加者：32名
5. 古民家で琉球料理(古民家建築解説と琉球料理「美栄」)
講師：平良啓氏（株国建） 開催日：3月27日（土）
参加者：10名

5. 史跡巡見（うるま・読谷の文化と歴史を訪ねる）

講師：恩河尚氏（沖縄市総務部） 開催日：2月28日（日）
参加者：22名

6. 文化講演会（ルベルトガの正殿古写真で大龍柱の向きはどう変わるのか？）

講師：安里進氏（沖縄県芸大名誉教授） 開催日：3月20日（土）
参加者：40名

7. 首里城研究会

第 154 回 開催日：7 月 18 日（土） 参加者：14 名

発表者：金城善氏「『生子証文』や『覚（片髪印紙）』から見る
首里の五人與」

発表者：金城聡子氏「天理図書館蔵『古琉球古文書』と貝摺奉行
所関係の新情報について」

第 155 回 開催日：9 月 26 日（土） 参加者：10 名

「首里城研究」22 号合評会

第 156 回 開催日：11 月 21 日（土） 参加者：15 名

発表者：鈴木悠氏「那覇市の文化行政について」

第 157 回 開催日：3 月 14 日（日） 参加者：10 名

発表者：金城善氏・小野まさ子氏「明治 19 年の内務大臣山縣有朋
の沖縄諸島巡回と中城御殿でのお招きの次第と献立」

8. 「首里城研究」（学術誌）の発行

「首里城研究」 No. 23 発行日：3 月 31 日（発行部数：400 部）

9. 友の会会報の発行

第 112 号 発行日：7 月 15 日

第 113 号 発行日：10 月 31 日

第 114 号 発行日：12 月 25 日

第 115 号 発行日：3 月 31 日

10. 運営委員会

第 1 回 開催日：5 月 23 日（土） 参加者：10 名
令和 2 年度定期総会に向けて他

第 2 回 開催日：6 月 20 日（土） 参加者：10 名
書面総会内容及び前期事業について

第 3 回 開催日：7 月 24 日（金） 参加者：8 名
書面総会回答報告及び会報 112 号の発行に向けて

第 4 回 開催日：10 月 9 日（金） 参加者：9 名
後期事業及び会報 113 号の発行に向けて

第 5 回 開催日：11 月 7 日（土） 参加者：6 名
後期事業実施計画及び前期事業報告

第 6 回 開催日：12 月 5 日（土） 参加者：7 名
会報 114 号の発行に向けて及び後期事業について

第7回 開催日：3年3月13日（土） 参加者：7名
今年度事業報告及び会報115号の発行にむけて及びイヌマキ育樹祭について

11. 会員数（令和3年3月31日現在）

個人会員：881名

法人会員：37社

(6) 誘客促進

プロジェクションマッピング(沖縄県連携事業)

目的

首里城が復興していく過程において、首里城の魅力、歴史的価値を再認識する機会を創出するとともに、国内外へ向け琉球文化を発信するために、沖縄県主催により首里城公園内でプロジェクションマッピングを実施する。

概要

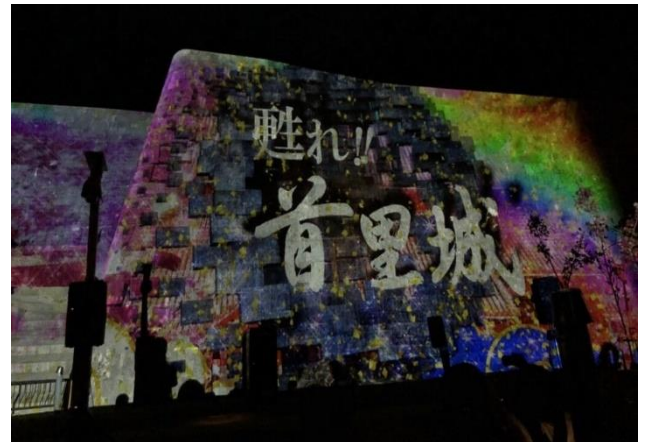
歓会門、北城郭、広福門、京の内の4か所で実施し、期間中の利用者は10/30(金) 1,929名、10/31(土) 2,606名、11/1(日) 2,571名の合計 7,106名であった。

広福門では光の演出と空手演武のコラボレーションや京の内では観覧者から募集したメッセージの投影など、多様な演出で観覧者を魅了した。

歓会門



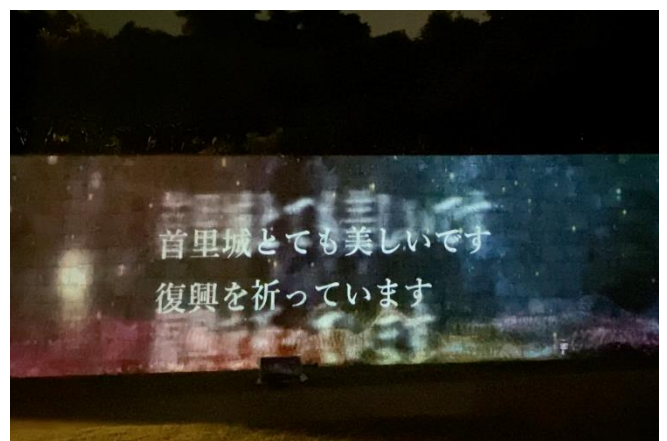
北城郭



広福門



京の内



(7)行催事

令和2年度 首里城祭

目的

首里城祭は首里城公園の開園記念にあたる期間に、首里城及び琉球王国時代の歴史文化を紹介する催事を開催し、琉球王朝文化の普及啓発を図るとともに沖縄県の観光振興に寄与することを目的とする。

開催期間および場所

《期間》 令和2年10月31日(土)～11月3日(火・祝)

《場所》 首里城公園及び首里城公園周辺

《連携団体》 沖縄県、沖縄県立芸術大学、沖縄県酒造組合、首里振興会

概要

今年度は首里城火災から1年となることから、首里城公園を中心として各種催事を展開し、首里城復興の機運をさらに高めるとともに、復興への思いに感謝し応えるイベントを開催した。

首里城祭イベント

イベント名	場所	合計 観覧者数	10/31	11/1	11/2	11/3
国王・王妃出御	世誇殿前	1,649人	462人	602人		585人
伝統芸能公演	首里杜館芝 生広場特設 ステージ	885人	158人	284人	222人	221人
琉球王朝祭り首 里「古式行列」	首里城公園内	763人				763人
首里城復興メッ セージモザイク アート	首里杜館1F	486人	—	—	—	—
収蔵品パネル展	首里杜館 ビジターロビー	—	—	—	—	—

首里城祭関連イベント

イベント名	場所	合計 観覧者数	10/30	10/31	11/1	11/2	11/3
首里城プロジ ェクションマ ッピング	歓会門、北 城郭、広福 門、京の内	7,106 人	1,929 人	2,606 人	2,571 人		
首里城復興祈 念ライブ	首里杜館芝 生広場特設 ステージ	900 人		198 人	334 人	84 人	284 人
首里城復興祈 念ステージ	首里杜館芝 生広場特設 ステージ	1,587 人		395 人	610 人	104 人	478 人
空手演武	首里杜館芝 生広場特設 ステージ	232 人		86 人	42 人		104 人
首里城復興 イベント	中城御殿	2,522 人		654 人	625 人		1,243 人
琉球泡盛 パネル展	銭蔵	1,202 人		161 人	285 人	253 人	503 人

・検温やアルコール消毒、マスク着用の呼びかけ、ソーシャルディスタンスの確保等、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施しながら来園者に観覧いただけるよう、財団スタッフで連携して取り組んだ。

・ステージイベントの出演者についても密にならないように、控室として情報展示室、ビジターロビー、城西小学校体育館などを利用し、感染症対策を行った。



国王・王妃出御



伝統芸能公演

秋季催事 シルバーウィークイベント

目的

従来の「中秋の宴」の代替イベントとして「シルバーウィークイベント」を実施することで、復興に向け歩みだした首里城への来園を促進するとともに、来園者の満足度向上をめざすことを目的とする。

開催期間および場所

《期間》 令和2年9月19日（土）～ 9月22日（火）

《場所》 日影台、世誇殿、首里杜館

《連携団体》 （一社）琉球伝統芸能デザイン研究室、au 沖縄セルラー、NTT ドコモ

概要

首里城の史跡（日影台）を活用した解説、琉球王国時代から伝承されてきた古典音楽の演奏会、デジタル技術を活用した首里城VRを実施した。

プログラム

日影台解説会（youtube 配信及び現場解説）

9/19	9/20	9/21	9/22	合計
143名	50名	212名	145名	550名

ミニライブ「琉球古典音楽演奏会」

9/19	9/20	9/21	9/22	合計
159名	170名	280名	192名	801名

首里城VR体験 au（世誇殿）

9/19	9/20	9/21	9/22	合計
79名	78名	94名	95名	267名

首里城VR体験 NTT（首里杜館1階情報展示室前）

9/19	9/20	9/21	9/22	合計
16名	46名	41名	22名	109名

- ・首里城VR体験参加受付時に体温を測定し、参加者名簿（氏名、住所、連絡先、個人情報に関する同意）への記入を実施した。
- ・飛沫感染対策として、マスク及びフェースシールド等着用 of 参加者のみの参加とする。（フェースシールド等は財団で準備）

秋季催事 シルバーウィークイベント 風景



日影台解説会



琉球古典音楽演奏会(世誇殿前)



首里城 VR



琉球古典音楽演奏会(世誇殿内)

令和2年度 新春の宴

目的

首里城らしいお正月の雰囲気由来園者に感じていただき、また今後の首里城復興の機運を高めるためのイベントとすることを目的とする。

実施期間および場所

《期間》 令和3年1月1日（金）～1月3日（日）

《場所》 首里城公園

《連携団体》 沖縄県立芸術大学、首里振興会
(一社)琉球伝統芸能デザイン研究室

概要

御座楽演奏や「琉球芸能の宴」と題した琉球舞踊・古典音楽演奏ステージ、世誇殿前にて国王・王妃出御を行った。また、首里杜館では朝賀の儀式パネル展や首里城応援寄書き・作品展を実施した。新しい取り組みとして1月1日にはオンライン配信を行い、外出自粛中の方々にも新春の首里城公園の様子やイベントの雰囲気を配信した。

イベント

イベント名	実施場所	1/1	1/2	1/3
国王・王妃出御	世誇殿前【有料区域】	1,038人	705人	
御座楽演奏	系図座・用物座	521人	444人	
琉球芸能の宴	系図座・用物座	984人	1,044人	
首里城「朝賀の儀式」パネル展	首里杜館 B1F ビジターロビー	—	—	—
首里城応援寄書き・作品展	首里杜館 1F	—	—	—

・検温やアルコール消毒、マスク着用の呼びかけ、ソーシャルディスタンスの確保等、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施しながら、来園者に観覧いただけるよう、財団スタッフで連携して取り組んだ。

・イベント出演者へもマウスガードの着用やアルコール消毒等対策を徹底した。

令和2年度 新春の宴 風景



国王・王妃出御



御座楽演奏



琉球芸能の宴



琉球芸能の宴



朝賀の儀式パネル展



首里城応援寄書き・作品展



オンライン配信



オンライン配信出演者

令和2年度 琉球の華みぐい

目的

美しい花々で沖縄を訪れたお客様を歓迎する「沖縄花のカーニバル 2021」の開催に併せて、海洋博公園の「美ら海花まつり」に続き、首里城公園においても園内の草花装飾を実施し、花をテーマにしたパネル展を連携イベントとすることで、公園利用促進及び来園者の満足度向上を図ることを目的とする。

開催期間および場所

《期間》 令和3年2月20日（土）～3月14日（日）

《場所》 歓会門内側～瑞泉門階段下、首里杜館

概要

園内装飾についてはブーゲンビレアやベゴニアなどの草花を用いて首里城ならではのフォトスポットを設置した。首里杜館では「花の工芸品パネル展」を開催した。

令和2年度 琉球の華みぐい 風景



草花装飾



草花装飾(部分)



草花装飾(フォトスポット)



花の工芸品パネル展

首里城公園事業年報 第12号 令和3年10月 作成

発行所 一般財団法人 沖縄美ら島財団

沖縄県那覇市首里金城町1丁目2番地

電話 098-886-2020 (代)

編集兼発行人 花城 良廣

